

〔4月〕人口の動き

| | |
|-----|---------|
| 人口 | 4,129 人 |
| 世帯数 | 958 世帯 |
| 出生 | 5 人 |
| 死亡 | 1 人 |
| 転入 | 33 人 |
| 転出 | 47 人 |

(4月末住民登録人口より)

ひがし しらかわ 広報

第122号

発行
東白川村公民館
岐阜県加茂郡東白川村
TEL.(東白川)1番

印刷
中部印刷KK

昭和44年6月15日発行

働く苦しみ と喜び

お茶摘みがこんな
にむずかしいと
は知らなかった。

初めての茶摘み
を体験した中学生
の正直な感想……

働くことは、反
面その喜びも大き
いでしょう。!



東白川中学校では、さる、五月二十九日から三日間、家庭勤労学習をはじめの試みとして行ないました。

昔流にいう農繁休暇が、農作業等の合理化から必要がないということで、最近では行なわれていなかったのを、地域ぐるみの生活指導というねらいで次のような目標をかかげ、実験的に実施したものです。

▼中学生が家族の一員としての自覚にたつて、家業に参加し、学習、仕事の楽しみのけじめをつける。

▼最近不足している勤労学習を家庭教育の中に取り入れる。

▼部落における生徒の生活について、社会的に目覚めさせ、責

任ある連帯行動を通じて、集団的な実行力を強める。

生徒は三日間、自分の家で、また仕事のない家庭は、学校から紹介されたところで、計画に基づいた日程で作業を行いました。

この三日間は、父兄が指導者として、勤労のみでなく、作業の要領や効果を説明し、身についた学習効果をあげたようです。

本誌も、村内数カ所で三人から四人の生徒をあずかり、指導してみえる家庭を訪問して見ました。自分の家ではなく、他人の家での作業に緊張きみながらも、汗いっぱいとなって働いている男女中学生に好感が持てました。

また、反面、鎌、鍬の使いかたなど昔ながら自然身につけている年ごろのほすなのに、幼稚な面も見られ、いまさらながら各家庭においての勤労が、ほとんどなされていないということが感じられましたが、これも時代の流れということで、片づけられない何かがあるようです。

これから社会へ出るこの若者たちが、いく

ら勉強ができて、口がうまくても、身を持って働く勤労の尊さを知らなくては意味がないようです。

そんな意味からも、すすんで勤労する生徒の姿勢も大切ですが、その勤労の楽しさ、苦しさ、尊さを体験させる家庭の姿勢も大切だということが、こんどの勤労学習の中から得られたようです。

本号は、先生の立場から、親の立場から、また生徒の立場から感想をまとめ、働く、働かすことの重要性というものを考える資料としてください。

働いた中学生の声

草とり

(二年男)

草むしりをした。

二十アールもやった。

汗がポトポト落ちた。

よその家でまじめにできてうちでできないはずはない。

母

(二年女)

私は今まで何度も作業を手伝ったことはありますが、こんどのように時間から時間へきちんとやったのは始めてでした。ですから、いつもとはちよつとちがうえらさ苦しさを感しました。

おかあさんは、よその家へいつものように「手間がえ」で行ってきます。すると夜「えらい、えらい」といいます。

こんどの勤労学習で働くということとは、どういふことをしなさい感じました。これからは、今までの三倍以上手伝いたいと思います。

ことばで言えないこと

(二年男)

家の手助けになる喜びが、ファイトのようなものもあった。

ことばでは言い表わせないようなことを学び教えられた。

秋を待つ

(三年女)

一日だらだらと仕事をするのではなく、時間がきちんとしていたので、はり合いがありました。

仕事をする時の父はきびしかったが、夕方「きょうはたいへん助かった。ありがとう。」と言われた時は、ほんとうにうれしかったです。

今から秋の取り入れが楽しみです。自分で植えた田は、ぜひ自分で刈りたいと思っています。

茶つみ

(二年女)

お茶つみは、ひとつひとつつまねばならぬので上げてしまった。こんなことではいけないとつくづく思った。母たちはつめるのに私だけつめないはずはないと思うのに、どうにもならなかった。

の勤労体験

の勤労体験

の勤労体験



働いて頭の勉強になった。後半

東白川中学校

汗だくだくで

3日間の家庭勤

実施した中学校長の考え

盲で聾で哑の少女ヘレン・ケラーと家庭教師アニー・サイバンをえがいた映画は、教育の中に本来ふくまれている大せつなものがこぼれ落ちてゐることを反省させます。

強制的鍛錬、反復練習的な苦しめる教育の一面を忘れてゐるな、親や教師が生徒に対して、圧倒的な自信をもって臨むという側面がなくなつてゐるなということである。

ヘレン・ケラーは意味の世界を

知らぬ野獣と同じで、手掴みで食べ、手当り次第に物をこわし

す。その少女を教師アニー・サイバンはテーブルに坐らせ、ナプキンをかけさせ、フオークとナイフで食事させようとする。痛をたかぶらせ暴れまわるヘレンを腕すく

で組み伏せ、ほつぺたをひつぱたき、二十分もの格闘のすえ、ついに両手にナイフとフオークを握らせる、というすさまじい教育を見せてくれます。

戦後の久しい間、戦前の押しつ

け教育の不愉快な思い出をふりかへるために、それから眼を外らしつつつけてきました。ヘレンの映画は、そういういわば教育的意図への一鞭に思えます。私たちは、子どもをおさるおさる育てすぎた。というのが実感です。取りかえしのつかぬことをしたという反省です。

中学生にもなつてからではもうおそすぎるということがずいぶんある。幼年教育の怠惰が中学生年令で手痛い罰をうけるのです。中学生に家庭教師アニー・サイバンは無効なのに、空しくアニーの役を受持つのは気が晴れないものです。

「中学生にもなつて、それくらいのことゝがわからないのか」と

な親になつてしまいました。

いくら機械化され、時代が進歩したとは言え、子どもが自発的に手伝つてくれるほど、うれしくありがたいことはありません。まったく尊い事だと思ひます。

私は、今こどもの立場から親を眺め、親の立場からこどもを眺めて考えさせられる事が多くあります。

いかに時代が進み、變つても、変らぬものはあります。心から親の事を思い尊敬されるような親とならなければならぬ中にも、こどもとして親の事を心から見える

手伝われた父兄から

どこの子も、それぞれやる気です。いっしょうけんめいにお手伝いをしてくれる姿を眺めて、ほんとうにはほえましく、うれしく思ひました。

喜んでやつたか、いやいややつたか、いづれにしても農繁期にお手伝いをしてゐる。その姿は何とも言へません。私宅だけでなくそれぞれの家で喜ばれたことと思ひます。

最近、農繁休みもなく、日曜といつてもよほど頼まないとお手伝つてくれませんし、時代の進歩でこどもも楽しそうにしてゐれば、またおとなも機械化されて昔のような労働はなくなりました。忙しいといつても、こどもを休ませてやらなければ、間に合わないといふことがないため、自然にこどもを使わなくなり、つまり「こどもをしつづける」ことのできないよう

な親になつてしまいました。いくら機械化され、時代が進歩したとは言え、子どもが自発的に手伝つてくれるほど、うれしくありがたいことはありません。まったく尊い事だと思ひます。

私は、今こどもの立場から親を眺め、親の立場からこどもを眺めて考えさせられる事が多くあります。

いかに時代が進み、變つても、変らぬものはあります。心から親の事を思い尊敬されるような親とならなければならぬ中にも、こどもとして親の事を心から見える

おとなは腰を立てるが、実は中学生になるまでに教えられず放っておかれたからこそ、かくは相成つたのではないのでしょうか。

小学校時代に基礎的なしつけができて、そのパトンを受けて、中学では最も伸び盛りの、その子にとつて待たなしの三年間を、からだの心の鍛えどき、というのが在るべき手順と思つてゐます。からだの心(思考)は別のものではあります。ねらいある身体活動は、思考を練るのに役立ちます。

家庭勤学習は、家族の一員として、本気を出して、目的をもって家庭活動に参加し、消費に対する生産活動のねうち、終日労働の経験によつてからだでとらえるような収穫を期待して行ないました。ご父兄にも、計画、しつけ、指導、反省など何かとご研究いただきました。

ご父兄の感想を要約すると「こどもの意志と力を見おした」ということでした。

かくして肝心なことは、家族と子どもの両面の実感をおのまゝ置きざりにしないで、今後どのように日常化していくかということでしょう。

中学時代の子どもをしつづけるのに大切なことは、要するに忍耐づよさと、こどもの自尊心を正しく伸してやることにあるようです。

(越原一主婦)

南北橋が永久橋に

10月完成めざし

いよいよ着工

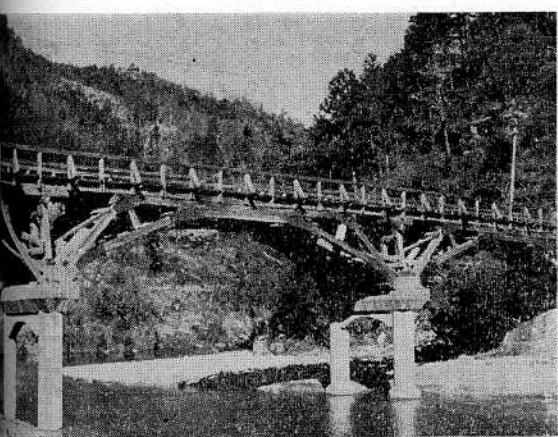
五加、久須見林道入口の南北橋は昭和二十五年木橋架設以来二十年にわたり利用されてきましたが近年老朽化し車などの通行に心配される状態となりました。そのため地元の方々からかけ替え要望もあり、県に補助を要請中でしたが、昭和四十四年度公共林道改良工事としてかけ替えが認められました。

新しくできる橋は、将来の交通事情を考慮し、現在位置より約五十メートル上流に架設を決定、通行しやすくなります。橋の構造は「中路単純鋼桁式」といい、兩岸の橋台に鉄げた二本を渡し、その中央部に鉄筋コンクリート床板によって通行面が作られる新しい型式の橋で、長さ四十三メートル、幅は三・六メートルの永久橋とな

総工費は、取り付け道路約五十メートルを含め一千六百六十万円を要する見込みで、その財源として国、県補助金八百万円、村費四百八十万円、地元受益者負担三百八十万円の予定です。

なお、工事は設計施行管理いっさいを県に委託し、県営工事として行なわれることになりました。

工事方法は、下部工事（橋台及び取付道路）と、上部工事（橋体）に区分され、下部工事を金山建設KK（金山町）上部工事をトピー工業KK（名古屋市）がそれぞれ担当に決定し、六月下旬着工十月末完成の予定です。



（↑20年の歳月を勤め終えようとする南北橋）

もう一息！ 復旧工事

新年度事業も各所で着工

八・一七災害による被災個所の復旧工事は、昭和四十三年度分工事の五月末に全部完成しました。引き続き本年度予定工事の着工準備を進めておりますが、その第一次発注（入札請渡）として次の個所の着工が決定しました。

【町村工事】
五加下野 本洞谷復旧工事（流路工による復旧）

工費 七百三十三万六千円
完成 本年十月末
施工 付知土建KK

五加下野 橋梁復旧工事（下野橋永久橋による復旧）
工費 三十一万二千円
完成 本年十月末
施工 丸登建設KK

神土小学校西裏橋梁復旧工事（永久橋で復旧）
工費 九十五万円

【県工事】
一級河川大明神川、暗、芳屋小屋
地内護岸復旧工事
工費 約六百万円
完成 本年八月末

施工 付知土建KK
平、高橋向谷治山えん堤工事
工費 二百一十万円
完成 本年十月末

施工 丸登建設KK
日向、欠の測治山砂防工事
工費 七十六万円
完成 本年十月末

施工 丸登土木
柏本、西屋洞谷治山えん堤工事
工費 三百三十三万円
完成 本年十月末

施工 中島工務店（加子母）

白川地内

県道の二カ所も

主要地方道である加子母、白川線の中川と水戸野地内の道路欠陥個所は、仮復旧のままでしたが、いよいよ、六月下旬着工され本格的な復旧工事が始められました。

この道路の復旧にあたっては、現形復旧ではなく拡幅改良復旧を建設省に要望していたため着工が遅れましたが、さいわい要望が認められ、災害復旧と改良工事の合

併施工により幅八メートルの立派な道路に生まれ替ることになります。

工事は中川地内が西野建設（左見）、水戸野地内大脇建設（白川）によって行なわれ、総工費約四千万円で本年十一月末には完成の予定です。

なお、工事中交通止めのないよう県当局に要望していますが作業の都合で短時間の交通止めや、時間制限等が行なわれる場合もあると思いますので通行する事などはじゅうぶん注意してください。

たばこは

村内で買いました

課税最低限引き上げなど

……四月から地方税制が改正……

地方税法等の一部を改正する法律が、さる四月九日に公布されたことに伴ない、県税条例や村税条例の改正が行なわれ、必要な減税措置がとられることとなりました。ここにその主なものを拾ってみたいと思います。

● 個人の住民税

まず、所得控除額の引き上げなどにより課税最低限が、夫婦子三人の標準世帯で、昭和四十三年度の五十三万二千四十円から六十二万三千七百七十一円となりました。また青色申告者の専従者給与の控除についてその限度額の法定を廃止し、いわゆる完全給与制をとることになりました。

控除額などのくわしいことは、別表をご覧ください。

◆ 個人の事業税

住民税の場合と同様に青色申告者の専従者給与の控除について完全給与制を実施するとともに、白色申告者の専従者控除額も十五万（従来十一万円）に引き上げられました。また事業専従者控除における月割計算の制度が廃止されま

◆ 自動車取得税

げられました。

中占車に対する課税や、新車でも最も価格の低い軽三輪車に係る課税価格等を考慮して、免税点が十五万円（従来十万円）に引き上げられました。

◆ 料理飲食等消費税

免税点について次のように改正されました。

① 旅館における宿泊及びこれに伴う飲食の免税点従来千二百円を→千六百円に

② 飲食店などにおける飲食の免税点従来六百円を→八百円に

③ いわゆるチケツト食堂における飲食の免税点
従来一品三百円を→一品四百円に

税率については、従来の消費金額による差等税率（一人一回の消費金額が三千円をこえるものについては十五％、それ以下のものおよび宿泊の料金については十％）が、すべて十％に統一されました。

◆ 電気ガス税

免税点が、電気については五百円（従来四百円）に、ガスについては千円（従来八百円）に引き上げられました。

◆ 固定資産税
新築住宅に対する固定資産税の軽減措置は、昭和四十四年一月一日までに新築された住宅について

適用することになっていましたが、今後とも住宅の建設を促進することが必要であると認められることから、引き続き昭和五十年一月一

日までに適用される住宅についても軽減措置をとることとされました。

| 改正項目 | 43年度(改正前) | 44年度(改正後) |
|------------------------------|--|---|
| 基礎控除額 | 11万円 | 12万円 |
| 配偶者控除額 | 9万円 | 10万円 |
| 扶養控除額 | 扶養親族1人につき5万円 | 扶養親族1人につき6万円 |
| 寡婦控除額 | 6万円 | 7万円 |
| 障害者控除額 | 6万円 | 7万円 |
| 老年者控除額 | 6万円 | 7万円 |
| 勤労学生控除額 | 6万円 | 7万円 |
| 特別障害者控除額 | 8万円 | 9万円 |
| 青色申告者の専従者給与の控除の限度額 | 専従者1人につき17万円 | 限度額の法定を廃止（完全給与制） |
| 白色事業専従者控除額 | 専従者1人につき11万円 | 専従者1人につき15万円 |
| 障害者、未成年者、老年者または寡婦についての非課税限度額 | 年所得28万円 | 年所得30万円 |
| 給与所得控除額 | 昭和42年分 (昭和43年度住民税に適用されない) ①給与の収入金額が670,000円以下の場合 収入金額×20%+56,000円 ②給与の収入金額が670,000円をこえ870,000円以下の場合 収入金額×10%+123,000円 ③給与の収入金額が870,000円をこえる場合 210,000円 | 昭和43年分 (昭和44年度住民税に適用される) ①給与の収入金額が695,000円以下の場合 収入金額×20%+76,000円 ②給与の収入金額が695,000円をこえ895,000円以下の場合 収入金額×17.5%+93,375円 ③給与の収入金額が895,000円をこえ1,095,000未満の場合 収入金額×7.5%+182,875円 ④給与の収入金額が1,095,000円以上の場合 265,000円 |
| 給与所得者についての特別徴収の回数 | 6月から翌年3月までの10回 | 6月から翌年5月までの12回 |
| 給与支払報告書の提出期限 | 2月末日 | 1月31日（明年1月提出分から適用） |

議 会 だ げ 切

第二回臨時会

議長に安江(多)氏を選出

補正予算など四件を可決

さる、五月二十四日役場において、東白川村議会第二回臨時会が招集されました。

この臨時会には、専決処分報告、昭和四十四年度一般会計補正予算、国民健康保険条例の一部改

村議会第二回臨時会において議長選挙が行なわれ、その結果私が議長の重責を負うことになりました。



といわれています。明治二十二年憲法発布にさきかけて、市町村制が施行された所以はこのことにあると信じます。

範囲の大小の差はあれ、村議会議員の職責は国・県議会に劣るものではありません。ご

議事はいうまでもなく、住民の意思、団体の意思を決定する議決権などもつ機関であり、その主宰者たる議長の職責は、極めて重大であることを痛感します。

浅学非才その器ではありませんが、村民の代表である議会議員の意思を尊重し、あくまでも議会が公正に、しかも円満のうちに運営できるよう、及ばずながら誠心誠意をもって努力を惜しまない覚悟

住民の声を議会に反映

議長 安江 多 策

承知のように村には、いろいろな懸案があります。八・一七災害の復旧事業、農業構造改善事業、山村振興事業教育関係においては、体育館建設と教育環境整備事業、また、村をもっと健康にし

度は、戦前のそれに比べると、議会に大きな権限が与えられ、議会の活動のよし悪しが行政や事業に直接影響を及ぼすことを思うとき、与えられた権限はまことに大きく

政治の方向を定め、行政を動かす、よい結果を求めるよう運営するのはひとであり、地域の住民であり、その代表者です。私たち議会には与えられた「今日持っている権限をいかに有効に、適切に行使」する議員として、住民の代表者としてその責任を果たし、住民福祉の向上と、郷土の発展のためいっそうの奮起をしなければならぬと思います。

五月十七日をもって、知識経験を有する者の中から選任された委員の任期(三年)が満了したため、第二回臨時会において次の方が知識経験を有する監査委員として選任されました。

⑥

正条例、監査委員の選任同意の四件が上提され、いずれも原案どおり可決されました。

この臨時会において、私約交替による正副議長の選挙と、議会議長による正副委員長の選挙と、委員の選任が行なわれ次のとおり今後一カ年の議会運営のにない手が決まりました。

- 議長 安江多策(大明神)
- 副議長 伊藤治雄(柏本)
- (総務常任委員)
- 委員長 安江正逸(下親田)
- 副 田口克郎(陰地)

- 委員 伊藤治雄(柏本)
- 田口庄之助(平)
- 今井健吾(日向)
- (教育民生常任委員会)
- 委員長 古田甲子雄(久須見)
- 副 安江勝哉(平)
- 委員 田口稔(上親田)
- 今井好美(西洞)
- 神戸 奨(平)
- (産業土木常任委員会)
- 委員長 村雲一男(申通)
- 副 今井悟史(神付)
- 委員 樋口甲子郎(中谷)
- 今井兼一(大沢)

- 高木史郎(黒瀨)
- また、昭和四十四年度一般会計補正予算(第二号)が、原案どおり可決されました。
- 総額は、二百二十九万八千円です。
- その内訳は次のとおりです。
- 総務費 十五万円
- 土木費 三十四万八千円
- 内県道改良工事負担金 二十九万七千円
- 請支出金 百八十万円
- 成人の山購入費 十万円
- 宅地購入費 百七十万円
- 国民健康保険条例の一部改正が行なわれます。

伝染病予防はハエ・カの駆除から



みな健康

五月、六月から夏に向かうと、ハエやカなどの害虫の発生が激しくなっています。ハエはふん便、その他

ごみなどの汚物と食物や食器などとの間を往来し、赤痢、食中毒、小児マヒ、腸チフスなどの病気や、回虫その他寄生虫の病気などの媒介(運搬者)となるので危険な害虫です。ハエの習性として

汚物に止まりやすく、いったん口に入れたものを吐き出してまたのみくたすといつようなことがあるので、危険なものなのです。昨年はさいわい赤痢などの発生がみられませんでした。汚水などと同じようにハエによる媒介でまたいつ赤痢が発生するかわりません。また、カは、日本脳炎の病源体の媒介者としてよく知られています。日本脳炎だけでなく、カに刺されるためのかゆみ

や、引っかいた後のただれ、化膿創なども、不愉快なものです。今日は、ハエやカなどの害虫の駆除にはどんなことが必要かを考えてみましょう。

● ハエの駆除

ハエにはいろいろの種類のものがありますが、主として家の中で生活するイエバエは、好んで米飯やいろく、の食品に集るので嫌なものです。ハエの卵は半日くらいで幼虫となり、土の中にもぐった後約一週間で成虫となります。だから成虫までになるのは、季節により多少の差はありますが、一週間から二週間です。ハエの発生源となるのは、ごみだめ、動物の糞、動物の死体、便池、たい肥などです。ハエの駆除の上で最も大切なことは、この発生源に対する処置です。ついで幼虫の駆除、成虫の駆除ということになります。

● 発生源の処理

ごみの処理—ハエは暗い所を嫌うので、ごみ箱は黒色にぬり、ごみ箱のふたは完全に密閉できるものにします。ごみを野積みにならぬように、一週間に一、二度焼き捨て燃えない野菜の切れはしや残飯な

どやごみの燃えがらなどは、奥深く埋めて埋めます。くみ取り口、便器の落し口ともに密閉する。暗いところにはハエは入らないものです。便所の窓に金網を張ってハエの侵入を防ぎます。

畜舎の処置—牛馬、豚などの畜舎は、床をコンクリート張りしてねわらの交換を五日おきに行ないます。たい肥中には多数の幼虫がおり、乾いた場所を求めて移動す



ハエとバイキン

「それーっ、目標はあれなるフケツな家だ」

るので、たい肥にむしろやビニールをかけ、しめった状態にしませす。

その他の発生源として、漬物おけ、たくあんぬかなどもあり、ふだんの手入れが大切です。

● 幼虫や成虫の駆除

幼虫の駆除としては、便池内やごみ捨て場などに、リンデンやゾシアジノン乳剤を散布します。畜舎などには、人畜に毒性の低いマ

ライオン乳剤などを用いるといいでしょう。成虫を駆除することは、あまり効果のないものですが、ゆるがせにはできません。防虫金網を窓や戸に張ることも、ハエの侵入を防ぐ意味で効果があります。成虫に対する薬剤散布としては、ハエの夜間の静止場所である天井、特に台所、食堂、居間などの天井に散布するのが効果的です。ダイアジノン〇・一五%油剤やリンデン〇

五%油剤を一坪当り百〜二百cc散布する。薬剤の他には、ハエたたき、ハエ取り紙、ハエ取りリボン、ハエ取り漏斗なども使用すべきでしょう。

● カの駆除

カにもいろいろの種類のものがあり、人や家畜を刺し、睡眠をさまたげたり、日本脳炎その他の伝染病を媒介します。

カの駆除の場合にも、一番効果のある方法は、発生源をなくすることです。カの発生源としては、どんよりと流れのない水たまりが

カの発生源に適したところになります。魚の住まない沼地、湿地、排水溝のない水たまり、あきびん、あきかん、竹の切り株などに雨水が一週間以上もたまっている所など、最も発生しやすい所です。田も好んで卵を生み、ぼうふらをわかせる所です。

発生源の除去としては、このような水たまりをなくすることになります。あきかん、あきびんを片づけることや、排水溝をつくりたり水のないようにすることや、下草を刈ったり、砂をまいたりなどもひとつの方法です。田に対する対策のよい決めはありませんが、除草に気をつけ、雑草のないようにして、産卵を防ぐとか、各種の殺虫剤(DDT、デルドリン、BHCなど)の散布も必要でしょう。沼地などには、蚊の幼虫であるぼうふらの天敵として、メダカや金魚などを育てるのも、よい方法です。週一回以上、水たまりを乾燥させることが、ぼうふらから成虫になるのを妨げることになり

大切です。

発生源の他成虫の駆除や、家屋内への侵入防止をすることも必要です。エアゾールを散布して殺虫することや、蚊取り線香、かや金網を窓や戸にとりつけることも有効でしょう。

● ハエやカをなくする運動

ハエ、カ、ゴキブリなどの害虫や、ねずみなどの撲滅大切なことは、一人や二人の力ではできないし、一家庭だけでもできないということです。部落全体とか村全体が、定期的な、撲めつ運動として発生源を除くことや、薬剤散布などに、協力をお願いします。



高値呼ぶ「白川茶」

一番茶の総販売額は三千万円

茶業一億を合言葉に、村の基幹作目として振興を図ってきた白川茶の一番茶期は、六月十一日の販売を最後に終了しました。

ことしは例年になく順調な気候に恵まれて、大幅な生産増加が見込まれましたが、五月二十日、二十一日の両日、村内の一部が晩霜にみまわれ摘採直前の新芽が被害を受け、その面積はおよそ十四ヘクタール、被害金額は二百万円に達しました。

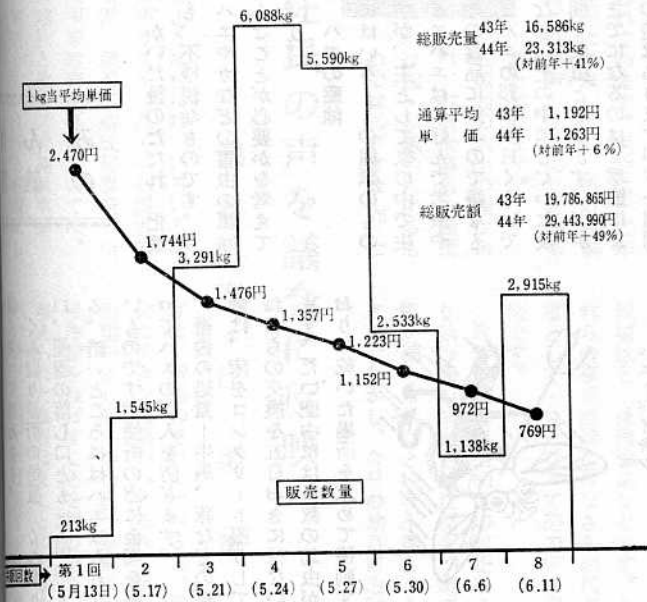
しかし、四、五年前に植栽された品種茶園がようやく生産をはじめたことと、茶業農家の肥培管理の向上などによって村全体の生産量は飛躍的に増加し、白川茶共販所での販売は昨年より四十一パーセント増となりました。これは昨年までの伸び率を倍以上も越える増加率で新農村事業以来一貫して進めて来た茶業の経営拡大がいよいよ実を結び、農家経済の中に定着しはじめた徴候であると考えられます。

セント高で諸物価の上昇率にくらべてややく低い感がありますが、販売内容において昨年より番刈茶の販売が多い点を考えると、実質的には十パーセントを越える価格であるといえます。

この結果一番茶の総販売額は普通茶、番刈茶で二千九百四十四万円余り、粉茶販売額を加えると三

昭和44年1番茶販売状況

(東白川村の販売分について
普通茶、番刈茶を対象とし粉茶を除く)



千百万円余りとなって昨年を四十パーセントも上回るとともに、東白川農協の年間緑茶販売計画三千七十七万円を一番茶だけでほぼ達成するという好成绩を納めました。

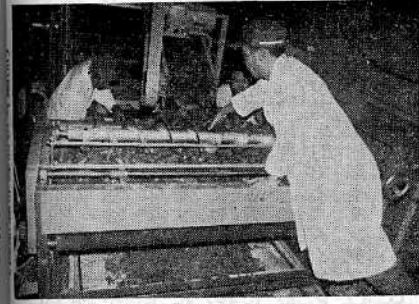
農業構造改善事業で建設した五加、親田の大型製茶工場も、予想より早くことしですでにフル操業といううれしい悲鳴となり、現在建設中の黒濁製茶工場の完成が待たれていますが、茶業収入一億達成に明るい材料を提供したことし一番茶販売の結果でした。

省力への第一歩

大成功の稚蚕共同飼育所

飼育 労働力の大幅な省力と村内全養蚕農家を一本化した稚蚕飼育を目標に昭和四十三年

度の農業構造改善事業として、曲坂に建設されていた東白川村稚蚕共同飼育所は去る三月に完成しました。その後自動飼育装置、自動温湿度管理装置などの試運転調整を行なうとともに、専従飼育者を九州宮崎県へ研修に派遣するなど、第一回の掃き立てに備えて準備をすゝめていたが、五月十六日、大きな期待と不安の中で春蚕第一回掃き立てを行ない、引続き五月二十日五月二十四日と三回にわたっておよそ四百二十箱を二令飼育し五月末までに各農家へ配蚕し、大成功のうちに春蚕期を終了しました。



この飼育所は東海、近畿、北陸ではじめて自動飼育方式のものであって、その飼育体系、能力、経済効果、あるいは飼育所自体の建物配置、構造、施工など、あらゆる面ではじめての事ばかりで、各方面から注目されていましたが、事業主体となった稚蚕飼育組合役員の非常な努力によって、予想以上の成果を納めることができました。

この飼育所の最大の特徴は飼育労働力の省力にあります。従来の飼育方法によれば一日当たり四十人以上の労働力を必要とするのを、専従飼育者九名のうち常時飼育者最高七名、最低三名という結果となり、機械化の長所をはっきりと印象づけました。飼育所の成功によって機械化養蚕時代が始まったといっても過言ではなく、その意味で岐阜県養蚕振興のうえに果たしたパイオニアの役割は大きかったと言えましょう。

の向上を図ります。

明るく “こんにちは”

——繰り広げよう親切運動——

豊かで、明るい文化的な郷土の建設は、私たちが強く願っていることです。

その願いを実現させるために、私たちがひとりひとりが、たえず生活の向上をめざす中で、おたがいに明るい態度で相手に接することが最も大切なことであり、それが「明るい村づくり」につながる基本となります。

村ではおとし、青少年の健全な育成をみんなで図っていくことと「青少年健全育成村民会議」を結成し、積極的に取り組んでいきます。昨年は施設の充実ということから、神戸小学校々庭に夜間照明施設を設置して、夜間のスポーツを奨励してきました。ことしは、さらに内容の充実

とくに人間関係の和による育成に力を入れることを目標に、次のことを実践事項として決めました。もとより、これらのことを行うためには、青少年のみのものではなく、村民ひとりひとり、が常に心して実行に移してこそ、この運動の成果が上がるものといえます。

明るい家庭 豊かな経済……それは明るい人間関係の結晶から生ずる。



まれるといっても過言ではないでしょう。

私たちは、村民会議の提言する豊かな明るい村づくりの意味をよく理解し、実践目標に協力していきたいものです。

次のことを、実行しましょう。

▼あいつの励行(おはよう、こんにちはは、さようなら)

(1) 道で出会ったひとには、黙って通りすぎないで、おたがいにあいさつをしましょう。

車のすれ違いは、おたがいに手を上げてあいさつを、また相手の車を待たせた場合は、誠意ある態度であいさつをしましょう。

▼「小さな親切」運動の実行

(1) 明るい社会とは、「小さな親切」が住民の間に行きわたっているということであり、そこには、きつと豊かな人間関係が育っているといえます。物を大切に

→ 汚れたカーブミラーの清掃も親切のひとつ

にすることも、ひとの親切を素直にうけ入れることもひとつの親切です。

常に相手の立場を考えて「小さな親切」を実行しましょう。

(2) 会議では、「小さな親切」実行者をみなさんからお知らせいただき、その実行者に、「親切運動実行章」をお渡し、小さな親切による明るい社会づくりの

質



輪を広げていきます。

この「小さな親切」実行者の推せんは、各種団体の長、学校長、組長を通じて行なうものとします。親切にされたとき、親切な行ないを発見されたときは、すぐ連絡をお願いします。

▼子ども会活動の充実

(1) 村内二十三の子ども会が、それぞれの特徴を活かし充実するために、その手はじめとして、

村子ども会育成指導者連絡協議会を結成し、育成指導者の研修を実施し指導の方法を学びます。

(2) モデル子ども会を指定し、子ども会の交換会などを通じ、質

▼転入、帰村青少年研修会開催

最近本村へ転入または後継者として帰村した青少年を希望により、国立青年の家へ派遣し研修させます。(九月予定)

▼村内の青少年の集い開催

村内の職場で働く青少年の集いをもち、村の現状を知るとともに、悩みや今後の希望を話し合いおたがいに励まし合って明るい社会を築いていくとする青少年の研修を持ちます。

(年二回の予定)

▼村制八十年記念論文集

明治二十二年の七月一日に、現在の東白川村が誕生してから八十年目にあたります。

いろいろな変遷を経て築かれた村の今後は、若いエネルギーの双肩にかかっていることはいうまでもないことです。

このときに当たり、青少年にその責任と自覚を促す意味で、今後の郷土建設のための積極的で、創造力にあふれた論文を募集し、広報でその優秀作を発表し、村内青少年にその意欲ある村づくりを促します。

将来への夢を託して

育英奨学会がスタート

中学校卒業後、その才能を持ちながら、家庭経済などの都合で進学をあきらめなければならぬ生徒は村にも多くあります。

そんな生徒たちに、援助の手をさしのべようと、こんど中学校歴代のPTA会長を中心として、村内各階層の有志が世話人となって

東白川育英奨学会をスタートさせました。

これは、来年の二月末ごろまでに基金を、卒業生、村内世帯主、村外の村出身者、村内外の篤志家などから募集し、それを積みたてて、その金利益金をもって必要

な育英奨学金に充てようというものです。

すでに何回かの準備委員会を開き、現在、卒業生、村外出身者などの住所、名簿などが作成されていますが、間もなく募金が始まることでしょう。

村づくりはひとつから何年かの大計のもとに、この募金運動が実を結ぶのを目標に私たちも認識を深めなければなりません。

基金の運用は、目標達成後は規則を設け、新設する運営委員会に移管、また貸与にあたっては、別に設ける選考委員会が審査を行な



相談室

①

（問）

私は、この四月会社を退職した女子ですが、すすめられて脱退手当金を受けずに国民年金に加入しました。いつから年金は入られますか。夫は会社に勤めています。

（答）

脱退手当金をうけていないのですから、厚生年金からの通算老令年金と国民年金からの通算老令年金の両方がうけられますが、厚生年金からは六十歳、国民年金からは六十五歳になればうけられます。女子が厚生年金だけから老令年金をうけるときは、五十五歳からですが、通算老令年金の場合は、すべて六十

って決定されるよう考えられています。

なお、村でもこの運動に対する必要経費を負担するなどバックアップを行ないます。

村税

輝やく記録

二年連続完納

納税については日ごろ格別なご協力をいただいておりますが五月三十一日をもって昭和四十三年度の出納閉鎖をしたところ、村税の滞納皆無で、昭和四十二年に引き続き二年間連続完納の実績を樹立しました。

村では、村民皆様のご理解とご協力に心から感謝を申しあげて

| 税目 | 金額 |
|---------|--------|
| 村民税 | 4,671 |
| 固定資産税 | 10,068 |
| 軽自動車税 | 715 |
| 村たばこ消費税 | 3,311 |
| 電気ガス税 | 1,428 |
| 木材引湯税 | 1,940 |
| 入湯 | 7 |
| 合計 | 22,140 |

別表のとおりとなりました。

います。

私たちの祖先が村に木を残してくれたように、私たちはひとを残していこう、それが育英奨学会の目標といえます。

44年度軽自動車税

| 順位 | 納税区名 | 期限内率 収納率 |
|----|------|-------------|
| 1 | 口大 | 100 |
| 1 | 口親 | 100 |
| 1 | 田下 | 100 |
| 1 | 洞神 | 100 |
| 1 | 地西 | 100 |
| 1 | 洞陰 | 100 |
| 1 | 洞黒 | 100 |
| 1 | 見須 | 100 |
| | 平 | 98.75 |
| 9 | 坂曲 | 97.77 |
| 10 | 神明 | 97.11 |
| 11 | 本大 | 94.05 |
| 12 | 谷山 | 90.04 |
| 13 | 通中 | 89.75 |
| 14 | 中橋 | 89.73 |
| 15 | 大沢 | 89.45 |
| 16 | 上親 | 89.14 |
| 17 | 下野 | 87.18 |
| 18 | 宮代 | 86.43 |
| 19 | 日向 | 82.92 |
| 20 | 加舎 | 73.99 |

固定資産税第1期分

| 納税区分 | 期限内率 収納率 |
|------|-------------|
| 口大 | 100 |
| 口親 | 100 |
| 田通 | 100 |
| 村付 | 100 |
| 谷尾 | 100 |
| 洞加 | 100 |
| 洞西 | 100 |
| 洞日 | 100 |
| 洞陰 | 100 |
| 洞黒 | 100 |
| 洞野 | 100 |
| 洞見 | 100 |
| 洞神 | 97.81 |
| 洞明 | 97.33 |
| 洞親 | 96.54 |
| 洞曲 | 95.99 |
| 洞山 | 95.19 |
| 洞沢 | 93.59 |
| 洞本 | 89.55 |
| 洞代 | 88.69 |
| 洞向 | |
| 洞尾 | |
| 洞加 | |

けいじばん

■五月の人の動きあれこれ

―出生―

（平）中丸清彦 栄作（二男）

（西）洞田口政春 亘（二男）

（下親田）村雲次郎 幸世（長女）

（平）桂川真弘 伸（二男）

（加舎尾）村雲光好 和彦（長男）

（宮代）山口直視 あゆみ（長女）

―死亡―

（宮代）今井ひでの

（大明神）田口 宏樹

（栃山）笹俣 俊介

（日向）安江 光次

―婚姻―

（大坪）晴生（曲坂）

（安江）富美子（上親田）

（額羅）甲子郎（上親田）

（安江）すみ（西洞）

■ただいま警察官を募集中です

岐阜県では、本年十月と来年四月採用の警察官を募集しています。本年十月採用 四十人（試験日） 八月三日



備えは 万全ですか

—災害は忘れたところに—

大雨災害にそなえて

ことしも大雨の降りやすい季節がやってきました。「わざわざは忘れたところにやってくる」ということがあり、備えをおろそかにしていると、思わぬ災害を招くことになりす。それで、不時の大雨にそなえて、山すそや川の近くに住む皆さんは、自分たちの命や財産を守るため、いまからその備えをしておいていただきたいと思ひます。

大雨の災害を防ぐには
大雨の恐ろしさは、山くずれや



川の出水です。それで、山くずれや川の近くに住む皆さんは、家のまわりの地形をよく知っておいて山くずれが起きたり、川が増水したときのことを考えて、避難する場所はどこにするか、また避難するときの道順は、などについて役場とか駐在所なども、よく打ち合せをしておきたいと思ひます。

水の流れをよくする

土地の低いところや、がけ下に住む方は、まわりの水はけをよくして、できるだけ水の被害が及ばないよう注意しましょう。

「ちがうよ、台風がくるので補修しておくんだよ」

大切なものは、まとめておく万一のときを考えて、大切なものはいつでも持ち出せるよう、よくまとめておきましょう。

避難するときは

火の元の用心と戸締まりは忘れないようにしましょう。服装は防水のきいた動きやすいものがよく女性の場合、スラックスなどで服

配給米

徳用上米が 小袋詰に

消費者の皆さんもご承知のとおり配給米には内地米（十キロ当り千五百十円）、徳用上米（同千二百五十円）、徳用米（同千二百五十円）の三種類あります。

そのうちの徳用上米については三月一日から小袋詰（十キロ単位の紙袋で価格、とう精工場も記載してあります。）で配給する事になりました。

これは消費者の皆さんが米屋さんから確実適正に受配できるようにしたもので、原料米から精米にして小袋に詰める過程を厳重に検査して行なうもので、これを広く

配給米の心掛けは、またリユックサック、ビニール袋、風呂敷などを持っていくと便利ですよ。

気象情報をよく聞こう

こうしたとき気象台からは、刻々に注意報、警報などが、ラジオやテレビで発表されます。そこでこうした情報はよく気をつけて、そのときそのときの状況をよく知っていきましょう。警報は大きな災害の恐れのあるときに発令されるものです。それで警報が出たときは、急がない旅行や外出はやめて最悪の場合に備えましょう。

県下全域にわたって実施していますが、非常に評判もよくせいぜいご利用ください。

また、四月一日からは配給制度が一部改善され、直接消費者の皆さんに関係あるものとしては、次のようなことです。今まで配給量が一月一人当たり精米十キロであったのが、精米十五キロになったこと、今まで消費者と米屋さん

とが登録によって結びついていたのが、今後はこの登録制度が廃止され同じ市町村内の米屋さんであればどこからでも米数通帳をもっていけば自由に見えるようになりました。これらがおもな改正点でそのほか加配用（妊婦加配用、長期入院患者用）、外食券などが廃止されました。

けいじばん

税務署では毎月五日を「税の相談日」として皆さんのおでかけをお待ちしています。国税のことならなんでもご相談に応じる税の相談日をぜひご利用になつて下さい。

- 二、米年四月採用 四十八人 (受付期間) 八月二十七日まで
- (試験日) 九月七日
- (受験資格)
- 十月採用は昭和十八年四月二日から二十六年四月一日まで
- 来年四月採用は昭和十九年四月二日から二十七年四月一日までに生まれた男子
- (待遇)
- 高校卒 三万二千四百円
- 短大卒 三万四千六百円
- 大学卒 三万八千円

このほか、年末、夏季、年度末手当四・四カ月分、合計二万から十四万支給されます。くわしいことは、駐在所へおたずねください。

毎月五日は税の相談日です

税務署では毎月五日を「税の相談日」として皆さんのおでかけをお待ちしています。国税のことならなんでもご相談に応じる税の相談日をぜひご利用になつて下さい。

税の相談は五日以外でも実施しておりますから、五日に都合の悪いときは、いつでも遠慮なくおでかけ下さい。

成年記念植樹祭に三十人参加 伸びよ！若人！若い木！

好天に恵まれた五月三日、ことし新しく設定した第六成人の山において、恒例の「成年記念植樹祭」が行なわれました。

ことは、今までの成人の山から少し白川をさか登った神土中通地内の、通称なべ向いに購入した〇・六五ヘクタールの山で道路からよく見えるところにあります。

この「成年記念植樹祭」は、成人者たちが自らの手で木を植える

ことよって、将来への夢を託すとともに、山林によってささえられている村の自覚を高めようと、村が昭和三十一年から行なっているものです。

一月十五日の成人の日に行なつた「伊勢神宮参拜」に参加した三十人全員と、村長をはじめ、村内各役職、団体の皆さん五十名も応援参加されました。

午前九時、新しく「第六成人の

山」と建てられた看板のある現地へ集合、記念式が行なわれました。式はまず村長が、「村と山の切りはなすことのできない現状、若ものの将来への重要性」を含めたあいさつを贈り、続いて代表桂川義春君（柏本）田口久子さん（西洞）に成人証書と、記念のアルバムも贈られました。

最後に、栗本重秋君（柏本）が「成人として恥ずかしくない態度で、郷土の発展に寄与します」と力強く宣誓文を朗読、式を終わりました。

きれいに整地された山の植樹に移り、それぞれ穴を掘るもの、植えるもの、汗を流しながら作業が続けられ、屋前には、二本のひのき苗が植えつけられました。

めずらしい カモシカをパチリ



こんな動物を見られたことがありますか。たしか、動物園というひともあるかも知れません。これは「カモシカ」なのです。国の特別天然記念物の貴重なこの「カモシカ」が、どうしたところか越原の黒淵に出現、偶然災害写真を撮っていた役場職員K君の前ですました顔、パチリとこの写真を撮るとつたところにはいちもくさんに退散。五月のある晴れた日のハブニング……………。

す。
この木がすくすく育つように、この若ものたちにも村のよき後継者としてすくすくと伸びて欲しい村の願いは、着々と実を結びつつあるようです。

在村中は

ありがとう

一村へ一万円が届く

「在村中には、生活保護を受けるなど、いろいろお世話になりました」という便りとともに、現金一万円を添えて送ってこられました。寄附特の方を紹介しましょう。

この方は現在、名古屋市港区に住んでいられる安江ますみ（旧姓金井）で、在村中は神戸平に見えました。名古屋へ出て生活も安定しましたが、世話になった村のことが忘れられずに便りを出されたものです。

村でも、このご好意に感謝するとともに、心よくお受けし、そのお金を生かすべく係で検討しています。

このせちがらいいわれている世の中で、ほんとうに心あたたまる

文芸

俳句



神戸卓川
(正樹)

慰霊塔
一塵止めずなつめの芽
徂く春や
土になずぬ人流離

百トンの

藪の産屋の稚蚕場
老いてなお
家の柱や藪を掻く

まず供う

苗一たばを保食尊に
筋つけて
早乙女を待つ田の平

茶茹機の

音微々として深緑
山宿や
たたみに蜜の桂馬駱

碑にすがる

空蟬帰るところなし
かびの香や
天保の世の留日記



■ 六月号をお届けします。先月は村勢要覧の編集のため休みました。村のあらましをPRする要覧ができましたので、用途に応じて希望の方にさしあげます。編集部までどうぞ。